台本作成ツール取扱説明書

Ver4.50
2014/04/01

CRESCENDO 104-0045 東京都中央区築地2-15-15-1408 **Mail :** c_music@nifty.com **HP :** http://crescendo.dee.cc

CRESCENDO

❖始めに 4

❖動作環境 5

❖御利用方法 7

インストール 7

Windows版 7

Macintosh版 7

アンインストール 7

Windows版（XPの場合） 7

Windows版（Vista・７・８の場合） 7

Macintosh版 7

起動 8

Windows版 8

Macintosh版 8

【正規版】と【お試版】 8

パスワード入力の注意点 8

設定 9

使用者の登録 9

❖タブ項目の説明 10

入力画面 10

Cut No（カット番号） 10

サブタイトル 11

カット見出し 11

本文 11

映像 12

開始タイムコード 12

終了タイムコード 12

映像の継続時間 13

文字数 13

秒 13

使う・使わない 14

メニュー 15

表示入力に移動する 15

横　文章台本に移動する 15

縦　文書台本に移動する 16

横　コンテ台本に移動する 16
縦　コンテ台本に移動する 16
カット表に移動する 17
カット表（Sub付き）に移動する 17
過去データを開く 17
エクセルの読込み 17

設　　定 18
使用者 18

❖入力画面を使ってみる 19
カット番号を入力します。 19
サブタイトルを入力します。 19
本文 20
カット見出し 20
使う・使わないを選択 20
映像 20
IN 21
OUT 21

新規レコードを作成する 21
削除 21
割り込み 22
台本のカットの並び順について 22
全部を表示する 22
【使う】だけを表示する 22
【使わない】だけを表示する 22
番号ふり直し 23
並べ直し 23
保存する 23

❖ワンポイント 25
台本作成時、思いついたことを本文に書き込みましょう。 25
アイデアを並べ替える 25
映像のアイデアを貼付けていく 25
全体の流れを見渡す 25
ナレーションなどもストックしていきましょう。 25

❖メニューを使ってみる 26

表紙入力に移動する 26
表示入力に移動する 26
横　文章台本に移動する 26
縦　文書台本に移動する 26
横　コンテ台本に移動する 26
縦　コンテ台本に移動する 26
カット表に移動する 27
カット表（Sub付き）に移動する 27
カット表について 27
過去データを開く 28
エクセルの読込み 28
保存ディレクトリー 28
エクセルファイルからデータを読込む方法 28
❖設定について 30
使用者 30
バージョンの確認 30
❖画像について 31
ご利用頂けるファイル形式 31
動画ファイルの利用 31
その他ご利用いただけるファイルについて 31
コンテ用の画像を作成するポイント 31
❖サポートについて 32
サポートの形態 32
サポートメールのアドレス 32
サポートメールに記載していただきたい事柄 32

❖始めに

この台本作成ツールは、日頃台本作成に多くの時間をとられる演出家や脚本家の先生に少しでもその作業が軽減できることを願って作成しました。
台本作成時に多くの要素を一度に処理できるように工夫されています。
台本に映像を張り付けたコンテ台本を作成すると同時にコメントだけの台本も作成されます。またナレーター用の縦書きの台本も同時に完成します。時間に余裕があれば仮編集のデータを書込むためのエディットシート機能も持たせてあります。また、台本に思い付いたコメントをなんタイプも用意しておいて使用するかしないかを選択できるようにしてあります。当然、使用しないコメントも保存されていますから必要に応じて元に戻したらり追加したりすることができます。
また、台本の文字数からおよそのナレーション時間を計算する機能もあります。これを合計しおよそのナレーション時間を計算することもできるようになっています。
機能は、今後もさらに拡張できるようになっています。どうかユーザー登録して下さい。最新版のお知らせをお送りします。また、追加したい機能に付いての御要望を受け付けます。

この台本作成ツールがお役に立つことを願っています。

株式会社クレッシェンド

❖動作環境

OS X Mavericks v10.9

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

OS X Mountain Lion v10.8 *

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

OS X Lion v10.7 *

- Intel プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Mac OS X v10.6 *

- Intel プロセッサを搭載した Mac
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

※動作条件が変更され、Mac OS 10.4.11/Mac OS X v10.5.x でのレプタ２の動作はできません。ご注意ください。

Windows 8.1 、 Windows 8.1 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 8 、 Windows 8 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 7 Ultimate、Professional、Home Premium *

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨

- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows Vista Ultimate、Business、Home Premium (Service Pack 2)*

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows XP Professional、Home Edition (Service Pack 3) *

- 700MHz 以上のプロセッサ
- 256 MB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

*上記動作環境であっても、必ずしも満足の行く作業が行なえない場合もあります。予めご理解ください。

※MacOS10.8 Mountain Lionでインストールをする時のご注意

MacOS10.8 Mountain Lionでは、Gatekeeperがインストールするものを、厳密に管理しています。Gatekeeperの設定変更は、Apple メニュー >「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可」で「すべての App を許可する」に設定する必要がある場合があります。

❖御利用方法

インストール

Windows版

Windows版で台本作成ツールをインストールするには、以下の操作を行ないます。

- 製品付属のCD-ROMをご利用のパソコンに入れます。
- インストーラが自動的に起動します。
- インストーラの指示に従いインストールを行ないます。

もし自動的にインストーラが起動しない場合には、マイコンピュータでCD-ROMを右クリックして開き、【台本作成ツールインストーラ_Win.exe】をダブルクリックします。

Macintosh版

Macintosh版で台本作成ツールをインストールするには、以下の操作を行ないます。

- 製品付属のCD-ROMをご利用のパソコンに入れます。
- デスクトップに現れるCD-ROMアイコンをダブルクリックして開きます。
- 【台本作成ツールインストーラ_Mac】をダブルクリックして起動します。
- インストーラの指示に従ってインストールします。
- インストール後、【台本作成ツール】のアプリケーションアイコンをドッグに登録すると便利です。
- ※MacOS10.8 Mountain Lionでインストールをする時のご注意

MacOS10.8 Mountain Lionでは、インストールするものを Gatekeeperが、厳密に管理しています。Gatekeeperの設定変更は、Apple メニュー >「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可」で「すべてのAppを許可する」に設定する必要がある場合があります。

アンインストール

Windows版（XPの場合）

Windows版の台本作成ツールをアンインストールするには、以下の操作を行ないます。
【スタート】▷【コントロールパネル】▷【プログラムの追加と削除】を起動します。
【台本作成ツール】を選択後、【削除】を選択して、アンインストールします。
全てが削除されます。データも削除されますのでご注意ください。

Windows版（Vista・７・８の場合）

【スタート】▷【コントロールパネル】▷【プログラムと機能】を起動します。
【台本作成ツール】を選択後、【アンインストールと変更】を選択して、アンインストールします。
全てが削除されます。データも削除されますのでご注意ください。

Macintosh版

Macintoshでは、以下の操作を行ないます。

【Finder】をクリックして、ウインドウを開きます。
【書類】をクリックして【台本作成ツール】フォルダーを選択します。
ゴミ箱へドラッグし、【ごみ箱を空にする】を行ない削除します。
全てが削除されます。データも削除されますのでご注意ください。

起動

Windows版

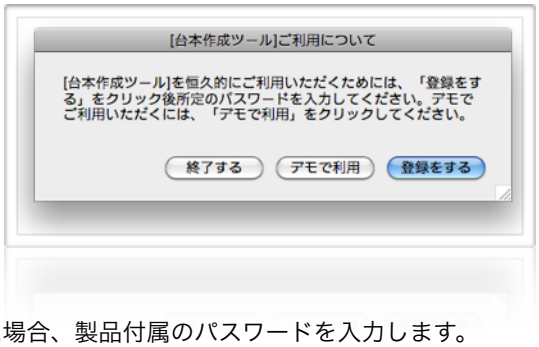
【スタート】▷【（マイ）ドキュメント】▷【台本作成ツール】▷【台本作成ツール】を選択して起動します。

Macintosh版

【書類】▷【台本作成ツール】 ▷【台本作成ツール】をダブルクリックして起動します。

【正規版】と【お試版】

はじめて【台本作成ツール】を起動した場合、【正規版】として利用するか３０日間限定の【お試版】で利用するかを問い合わせる画面が表示されます。



【正規版】をご購入いただいた場合、製品付属のパスワードを入力します。

パスワード入力の注意点

パスワード入力を行なう場合、以下の点にご注意ください。

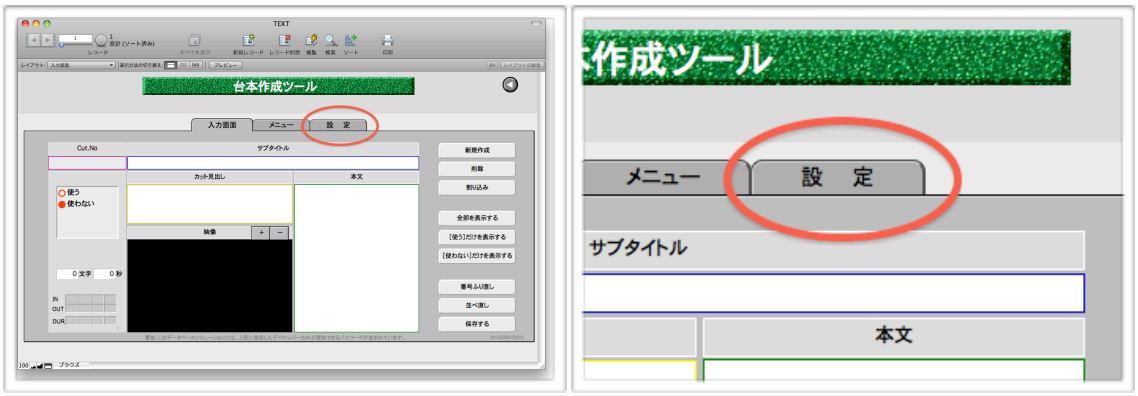
- 入力する文字は全て半角英数文字です。(1234 ABCDなど◎／１２３４ＡＢＣＤなどは×)
- スペースを空けずに入力します。（1234567は◎／123 45 6　7は×）

- 改行などをしないでください。（enterやReturnなど）

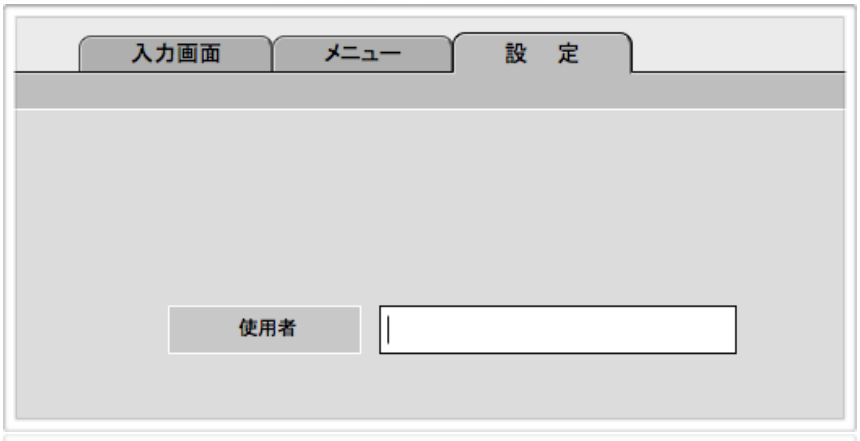
設定

使用者の登録

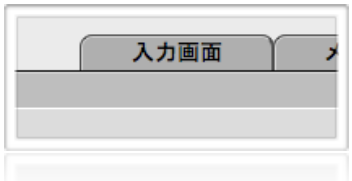
はじめに、入力画面の上部にある、タブ項目で【設定】を選択します。



【使用者】を登録する画面が表示されます。



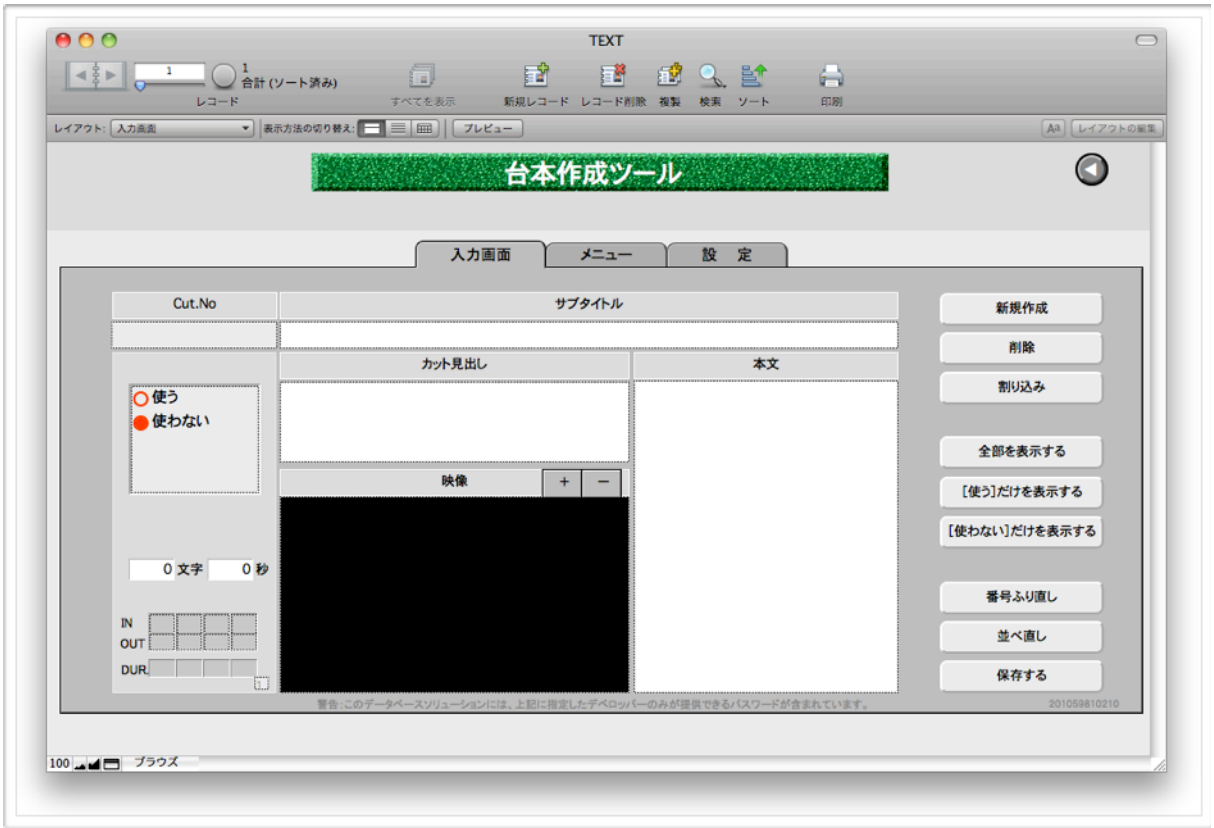
登録された【使用者】は、台本の一部分に印刷されます。
【入力画面】をクリックして戻ります。



タブ項目の説明

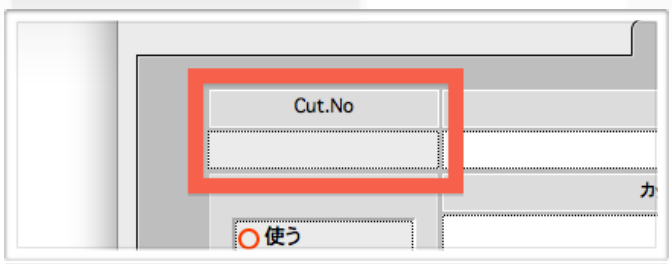
入力画面

この画面では、台本のカットごとに入力をします。入力する項目は以下のものです。



Cut.No（カット番号）

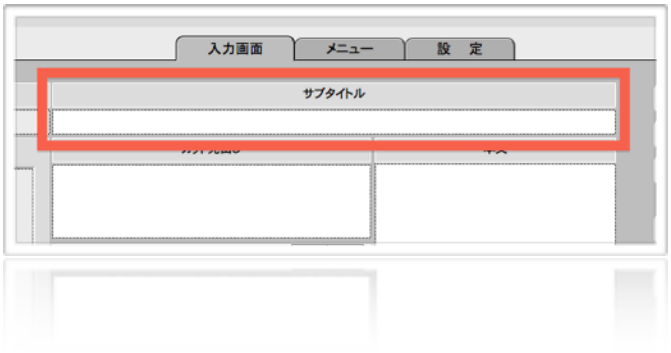
ここには、カット番号を入力します。



ここで入力したカット番号を元に台本の表示順が決定します。
従って、ここにカット番号を入力しないと、正しい順序で表示されません。

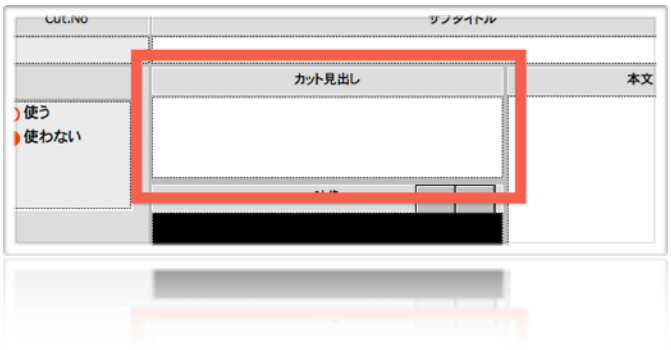
サブタイトル

これは台本上のシーンになりあたります。



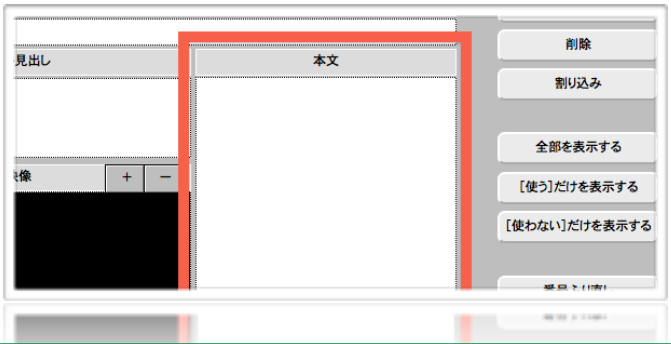
カット見出し

これは、カット表に表示されるカットごとの見出しとなります。
台本では、本文の説明に利用できます。



本文

これは台本の本文です。
文字を入力します。
あまり長い文章にならないようにします。

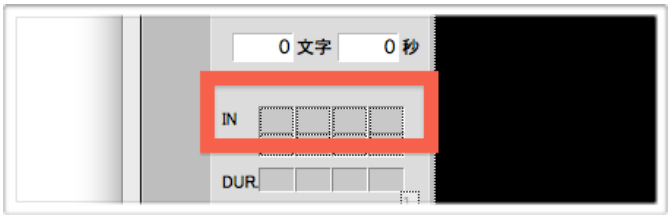


映像

ここには、静止画または動画を貼付けることが出来ます。
静止画は、jpegのピクチャーを動画はQuickTime形式の動画を貼付けることが出来ます。

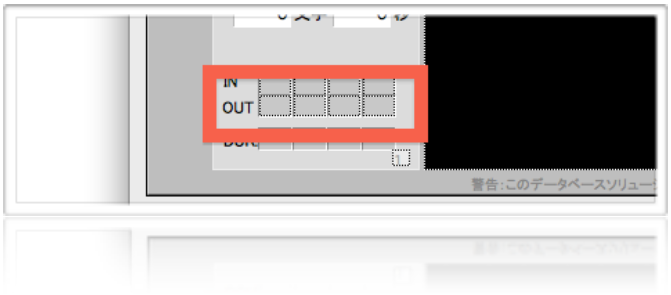
開始タイムコード

ここには、映像の開始タイムコードを入力します。
カット表のIN点となります。
hh：mm：ss：ffで入力します。
ノンドロップフレームで計算しています。



終了タイムコード

ここには、映像の終了タイムコードを入力します。
カット表のOUT点となります。
hh：mm：ss：ffで入力します。
ノンドロップフレームで計算しています。



映像の継続時間

ここには、INからOUTまでの長さを計算し、継続時間を表示します。
hh：mm：ss：ffで表示します。
ノンドロップフレームで計算しています。

文字数

これは、本文の文字数を数え表示します。

秒

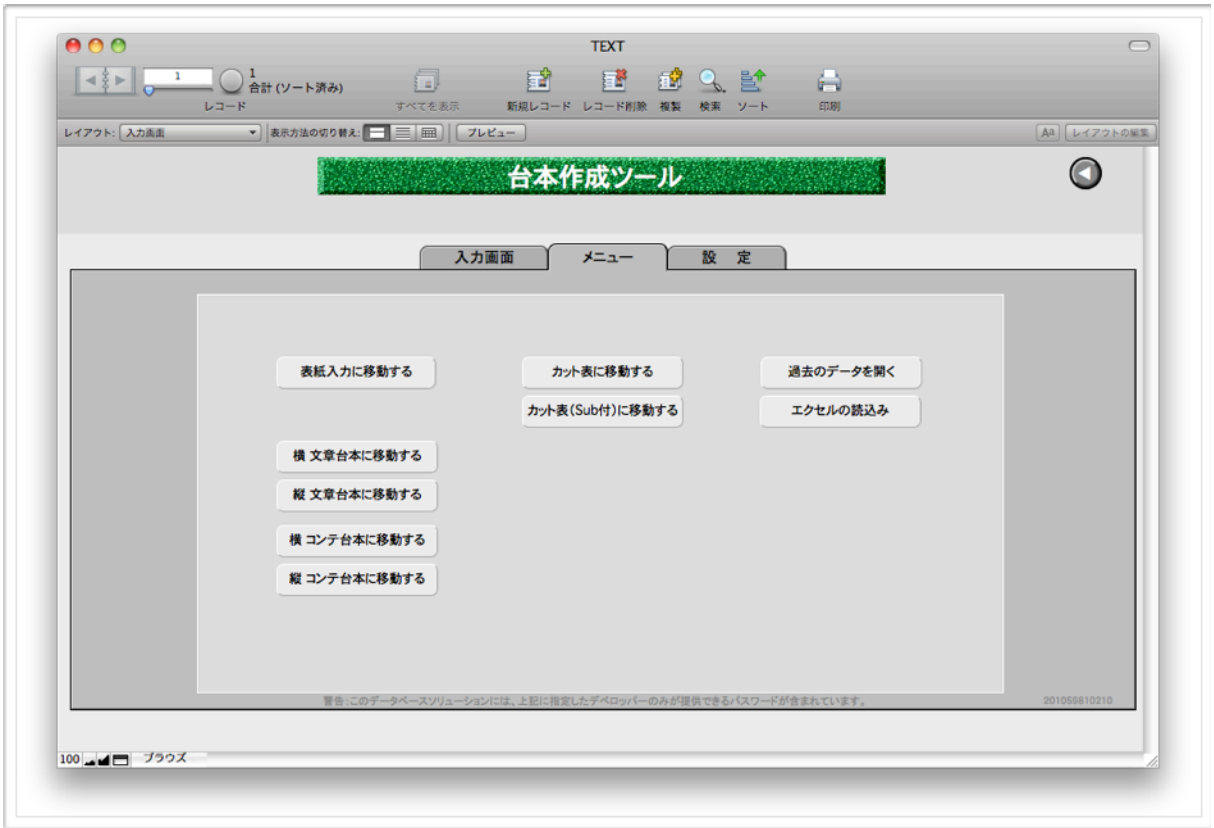
これは、本文の文字数を元に、およそのナレーション時間を計算し表示します。

使う・使わない

これは、思いついたアイデアをこの台本作成ツールに書き込んでおいて、【使う】ものと【使わない】を切り替えるために使用します。

【使う】を選択した場合、そのカットは印刷されたり表示されたりします。
【使わない】を選択した場合、データとしては削除されていませんが、見かけ上なくなります。
印刷から除外したり、画面上から一時的に非表示にしています。
また、【使わない】だけを表示することができます。
この中から、【使う】に変更して、再利用することが出来ます。
台本がAタイプ・Bタイプなど、複数のタイプを必要としているとき、切り替えて利用すると便利です。

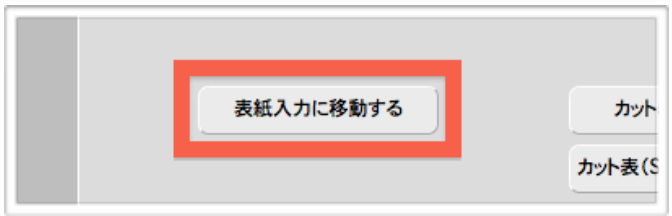
メニュー



メニューには、以下の項目があります。

表示入力に移動する

これは、台本の表紙を作成する画面へ切替ます。表紙作成専用の画面が現れます。

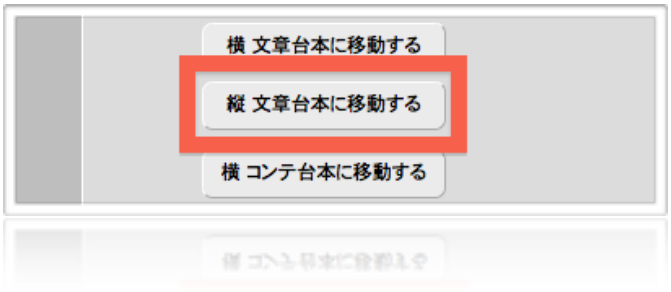


横　文章台本に移動する

文章だけで構成された台本を用紙を縦に使い、文字を横書きにした台本が作成できます。

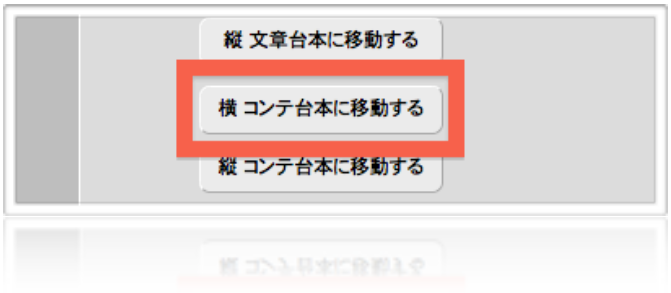
縦　文書台本に移動する

文章だけで構成された台本を用紙を横に使い、文字を縦書きにした台本が作成できます。
（画面では文字が横を向きます）



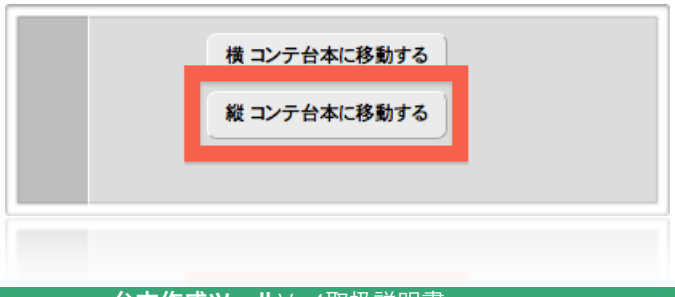
横　コンテ台本に移動する

文章と映像コンテで構成された台本を、用紙を縦に使い、文字を横書きにした台本が作成できます。



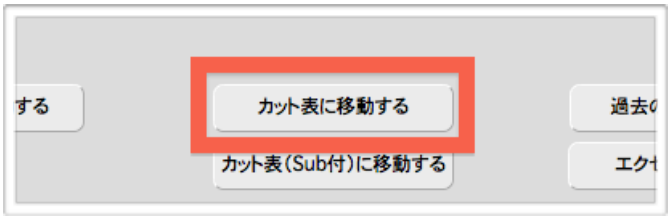
縦　コンテ台本に移動する

文章と映像コンテで構成された台本を、用紙を横に使い、文字を縦書きにした台本が作成できます。
（画面では文字や画像が横を向きます）



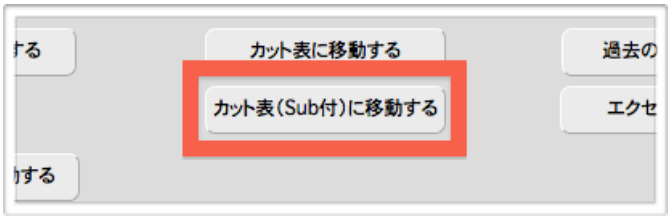
カット表に移動する

これは、カット見出しとタイムコードIN・OUT・DURで構成されたカット表を表示します。



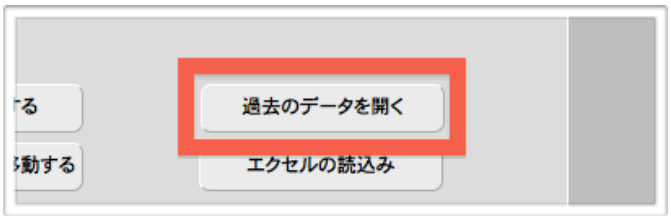
カット表（Sub付き）に移動する

これは、カット見出しとタイムコードIN・OUT・DURで構成されたカット表で、さらに、サブタイトル（シーン区切り）も追加されたものが表示されます。



過去データを開く

過去に作成した【台本作成ツール】のファイルを開くための画面が表示されます。



エクセルの読込み

MS　Excelのデータをインポートして利用できるようにします。

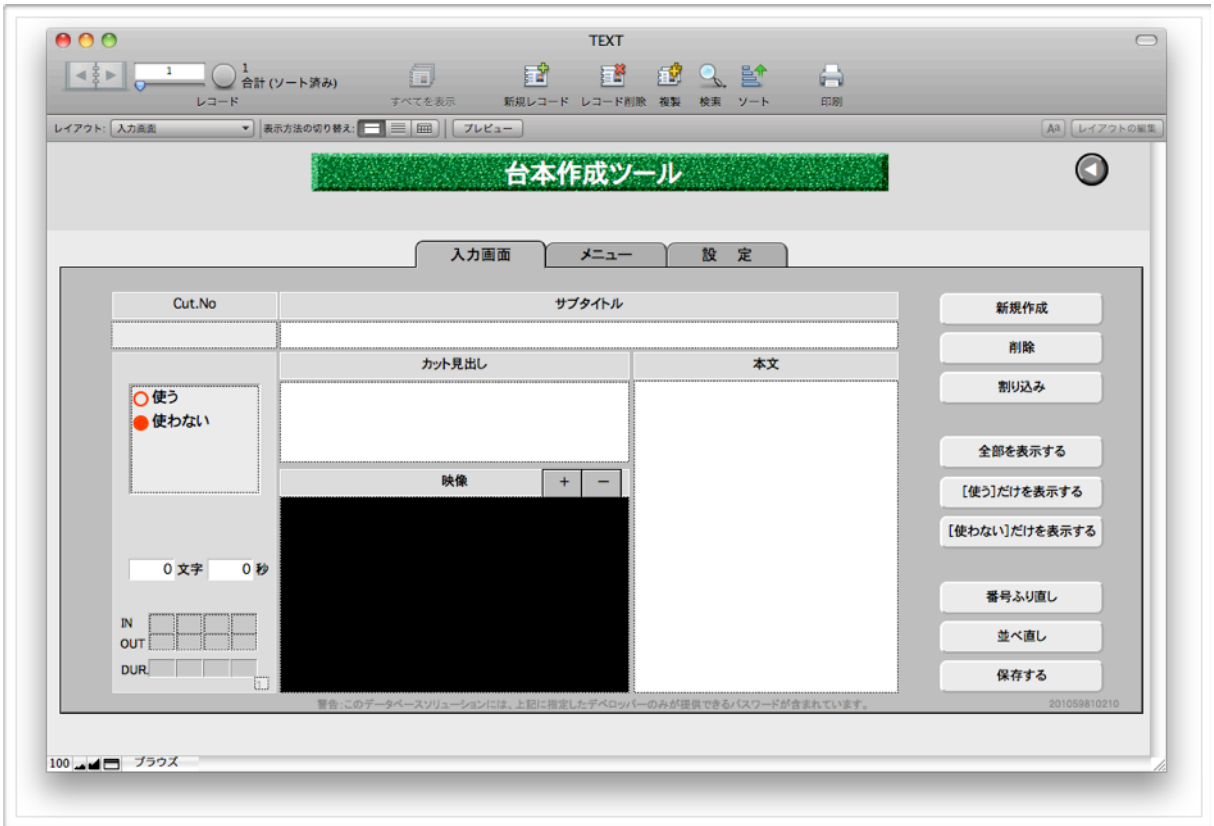
設　　定

使用者

ここには、このソフトをご使用いただく方の氏名、または、会社名を記入します。

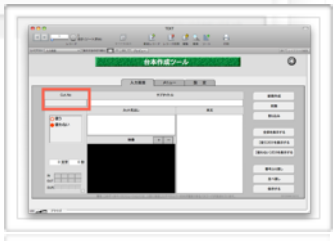
❖入力画面を使ってみる

タブ項目で【入力画面】を選択します。
以下の順で入力進めていきます。



▸カット番号を入力します。

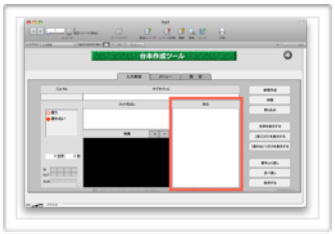
はじめにカット番号を入力します。
数字で１から順に入力します。



▸サブタイトルを入力します。

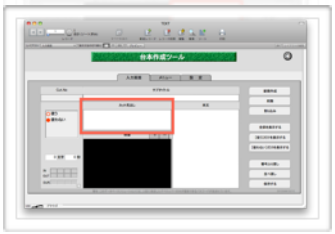
サブタイトル（シーン）を入力します。
この欄は、シーンの区切り目に来たときだけ、入力します。
空欄の部分は印刷するときに切り詰められます。
つまり、シーンの区切りがあるときだけ現れ、それ以外は詰められるということです。

本文



ここには、台本のカットごとの文章を入力します。
カットごとに必要な文字を入力します。
あまり長くならないよう気をつけましょう。
最大で４行分です。これを超える文字数は、入力できても印刷されないことがあります。御注意下さい。

カット見出し

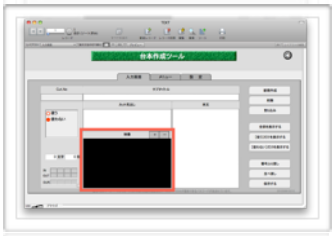


台本の絵コンテについて書込む部分のコメントです。
最大で４行分です。これを超える文字数は、入力できても印刷されないことがあります。御注意下さい。
この見出しは、カット表の行に カット内容として 反映されます。

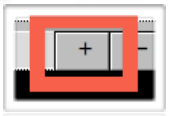
使う・使わないを選選択

台本に使用するか、アイデアとしておいておき、使用しないでおくかを選択します。思いついたアイデアはどんどん新規レコードを作って書いておきます。
同じカット番号であっても、【使わない】を選択しておけば、画面には表示されませんので、後で候補を呼び出して切り替えることが出来ます。

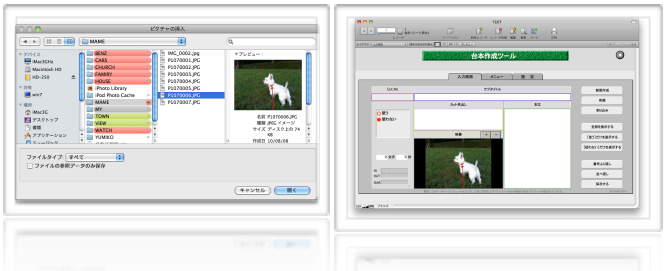
映像



ここには、静止画または動画を貼付けることが出来ます。
静止画は、jpegのピクチャーを動画はQuickTime形式の動画を貼付けることが出来ます。
映像を貼付けるためには、予め使用する画像を、用意しておきます。
ピクチャーフォルダーやデスクトップなどの分かりやすい場所に、画像を保存しておいてください。
画像を貼付け鶴には、以下の操作を行ないます。



- 映像と書かれたラベルの右にある【+】ボタンをクリックします。
  （ムービー取込みは、映像エリアで右クリックQuickTime...を選択して下さい。）
- 画像を選択する画面が表示されます。
- 使用する画像を選択し、【OK】または【開く】をクリックします。
- 画像が取込まれます。

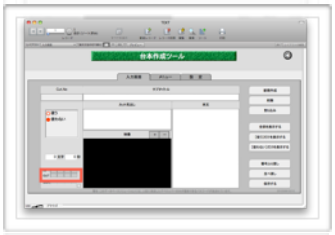


IN

ここには、使用するカット映像のタイムコードのIN点を入力します。

OUT

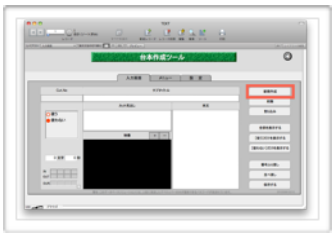
ここには、使用するカット映像のタイムコードのOUT点を入力します。



DUR：これは、タイムコードのOUTからINを引いた時間を自動的に計算します。
IN・OUT・DURは、ともにカット表に反映されます。

新規レコードを作成する

１カット目の入力が完了したら、画面右上の【新規作成】をクリックします。
すると、何も入力されていない、新しいレコードが作成されます。
新規にレコード（カットごとの入力ページのこと）を作成したとき、【使用】が選択されています。



先に入力したデータは、新しく作成されたレコードの後ろに隠されています。
データは削除するまでは消えることはありません。

削除

もし、不要なレコードがある場合には、画面右側にある、【削除】をクリックします。
本当に削除していよいかを問う、アラート画面が表示され、【OK】をクリックすると永久に削除されます。

UnDoはできませんのでご注意ください。

割り込み

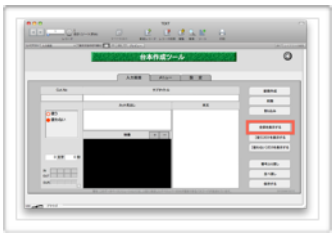
割り込みとは、先に作成したレコードとその後作成したレコードの間に、新しいレコードを割り込ましたい場合に利用します。
この【割り込み】をクリックすると、現在のレコードと次のレコードの間に、新しいレコードを作成します。

台本のカットの並び順について

台本作成ツールでは、カット番号によって並び順がきまります。
従って、カット番号を変更すると、並び順が変わります。
割り込みなどを使った場合、番号と番号の間に、小数点を付加した番号を作り出し、並び順を変更します。
どうしても、前のカットと次のカットの間に、新しいカットを入れたい場合、新しく作ったレコードに少数点を付加して、前と後のカットの中間になるような番号を作成してください。

例：１・２・３・４という番号の３と４の間に、新しくカットを割り込ませる場合、新しく作ったレコードの葛藤番号を、3.5とします。すると、１・２・３・3.5・４となり、割り込まれます。

全部を表示する

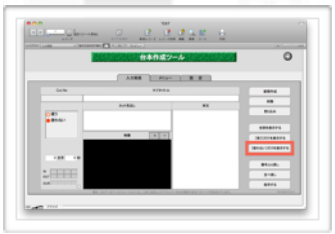


このボタンをクリックすると、【使う】【使わない】のいずれが選択されていても、全て表示されます。
【使わない】を選択してあるカットを復活させるときなどに利用すると便利です。

【使う】だけを表示する

このボタンをクリックすると、【使う】を選択したレコードだけが表示されます。

【使わない】だけを表示する



このボタンをクリックすると、【使わない】を選択したレコードだけが表示されます。

番号ふり直し

このボタンをクリックすると、カット番号に小数点などを使って割り込みをしているカット番号をふり直します。
つまり、小数点で表示されているカット番号を、整数の番号で直してくれるということです。

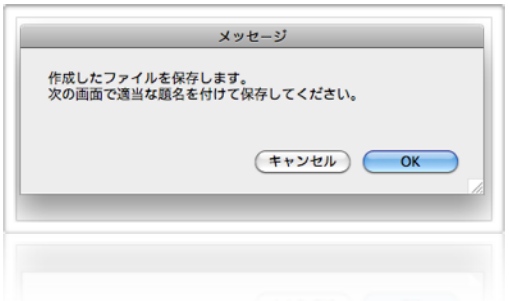
例：１・２・３・3.1・3.2・3.3・3.4・４・５・６となっているカット番号を１・２・３・４・５・６・７・８・９・１０とふり直してくれるということです。

並べ直し

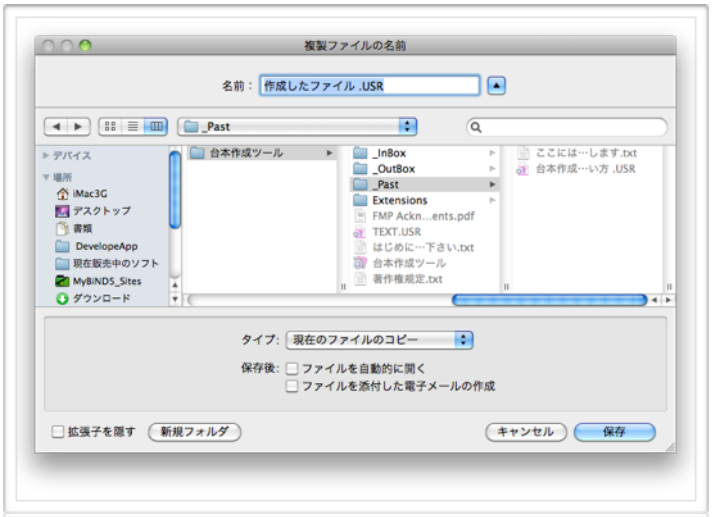
このボタンをクリックすると、レコードがカット番号順に並べ替えられます。
カット番号に小数点があると、その番号の小さい順に並べ替えられます。
一時的に順番を確認したい場合などに使用します。
最終的に並び順が確定したら、【番号ふり直し】をクリックして、整数のカット番号にしましょう。

保存する

このボタンをクリックすると、現在のファイルを別名で保存するための画面が表示されます。



この画面で、名称を入力し、その後、保存先を決めて保存します。
保存は、以下のディレクトリーに保存することをお勧めします。
【台本作成ツール】▷【_Past】この中に保存することをお勧めします。



この取扱説明書では、過去のデータを開くときのデフォルトフォルダーを【_Past】としています。

ファイルの保存は上書き保存ではなく、別名保存することを心がけましょう。常に別名保存することで、作品の途中経過を明確に残せます。

例：
新企画台本20100401_1.USR
新企画台本20100401_2.USR
新企画台本20100401_3.USR
新企画台本20100420_1.USR ・・・・等です。

最終的に、確定した台本には以下のような名称を付けます。
新企画台本20100522_確定.USR・・・等です。

ファイル名に日付などを付加し、常に別名で保存することをお薦めします。
こうすることで、作品の変化の経緯を明確にすることが出来るようになります。

完全に作品が完成したときには、経過ファイルは削除してもかまいません。動作には影響ありません。

❖ワンポイント

▸台本作成時、思いついたことを本文に書き込みましょう。

アイデアをメモするように本文に書き込んでいきます。
作品のプロットは後から組み替えができますから思いつくままに書き込んでいきます。

▸アイデアを並べ替える

大まかにアイデアを並べ替えてみましょう。
それぞれのアイデアの順番を付けていきます。
カット番号に番号を振っていきます。
このとき、番号は荒く設定することがポイントです。

例えば、はじめのプロットは思い切って100番とします。
次のプロットは200番・・・300番・・・400番などとふっていきます。

一度【並べ直し】を使って並べ替えてみます。
ほぼアイデアが確定してきたら、今度は、プロット間を埋めるためのアイデアを追加していきます。
プロットとプロットの間に【割り込み】を使ってレコードを作成していきます。

荒くふってある番号の間に自由に番号を挟みながらアイデアを膨らませていきます。

▸映像のアイデアを貼付けていく

台本では、文字だけで表すことのできない映像的な展開もあります。
レイヤーが使える画像ソフトなどを使って、アイデアイメージを作成します。

画像の比率を16:9（1920×1080・960×540・320×180・160×90）にして作成すると便利です。

完成した画像をJPEGなどで保存します。
台本作成ツールで、新規レコードを作成し映像フィールド（欄）に貼付けていきます。
使用するレコードには、【使う】を付けておけば表示されますし、【使わない】を選択しておけば、表示されません。

▸全体の流れを見渡す

【並べ直し】をクリックして、全体を眺めてみましょう。
流れが十分納得できたら、ナレーションなどを書き込んでいきます。

▸ナレーションなどもストックしていきましょう。

複数のナレーションのアイデアも、全部レコードに登録しておきましょう。【使う】【使わない】を使えば、同じカット番号をふっておいても、画面上で表示・非表示が切り替えられるので後で変更する場合便利です。
スポンサーとの兼ね合いで、確定できない箇所も、対応できます。

❖メニューを使ってみる

表紙入力に移動する

台本の表紙を作成するための専用画面へ切り替えます。
表紙入力は作品のメインタイトルやサブタイトルまた備考などを書込むメインタイトル専用画面です。
新規に何かを書込むことで作成日が自動的に修正されます。

表示入力に移動する

これは、台本の表紙を作成する画面へ切替ます。
表示作成専用の画面が現れます。

横　文章台本に移動する

これは、文章だけで構成された台本を表示します。
文字は横書きになります。
用紙を縦に使い、文字を横書きにした台本が作成できます。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

縦　文書台本に移動する

これは、文章だけで構成された台本を表示します。
文字は縦書きになります。（画面では文字が横を向きます）
用紙を横に使い、文字を縦書きにした台本が作成できます。
この時、英数半角文字は全て全角に置き換えられます。全角になった文字は全て縦書きになります。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

横　コンテ台本に移動する

これは、文章と映像コンテで構成された台本を表示します。
文字は横書きになります。
用紙を縦に使い、文字を横書きにした台本が作成できます。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

縦　コンテ台本に移動する

これは、文章と映像コンテで構成された台本を表示します。

文字は縦書きになります。（画面では文字が横を向きます）
用紙を横に使い、文字を縦書きにした台本が作成できます。
この時、英数半角文字は全て全角に置き換えられます。全角になった文字は全て縦書きになります。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

▸カット表に移動する

これは、カット見出しとタイムコードIN・OUT・DURで構成されたカット表を表示します。
文字は横書きになります。
用紙を縦に使い、文字を横書きにしたカット表が作成できます。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

▸カット表（Sub付き）に移動する

これは、カット見出しとタイムコードIN・OUT・DURで構成されたカット表を表示します。
さらに、サブタイトル（シーン区切り）も追加されたものが表示されます。
文字は横書きになります。
用紙を縦に使い、文字を横書きにしたサブタイトル付きカット表が作成できます。
この画面が表示されているときに、画面上部にあるステータスエリアで【印刷】アイコンをクリックすると、印刷ができます。（または、【メニューバー】▷【印刷】でも可）

この画面では、編集作業は行わず、印刷の確認などに利用してください。

カット表について

カット表を作成するには、入力画面でカットのタイムコードを入力します。
IN点とOUT点をワークテープから取り出して、書込みます。デュレーションは自動的に計算されます。そしてこのタイムコードの入力が、最後にカット表になって一覧表示されます。

カット番号	カット見出し	IN POINT H	M	S	F	OUT POINT H	M	S	F	DURATION H	M	S	F
1	プリンターの映像	0	12	14	10	0	12	25	15	0	0	11	5
2	車の映像を移します。	12	05	10	12	12	05	14	12	0	0	4	0
3	世界地図を表示	13	24	12	12	13	35	17	12	0	11	5	0
4	月の映像を表示します。	12	12	33	9	12	13	34	9	0	1	1	0
5	カットの見出しを変更します。	3	7	1	7	3	8	30	12	0	1	29	5

過去データを開く

このボタンをクリックすると、過去に作成した【台本作成ツール】のファイルを開くための画面が表示されます。
開きたいファイルを選択後、【OK】をクリックします。
ファイルが開きます。
このとき、タイトル部分は、デフォルトの【TEXT】から、開いたファイルの【名称】に変わっています。

例えば、開いたファイル名称が「新企画台本.USR」だとすると、タイトル部分は、【新企画台本】となります。

このタイトル部分で開いているファイルが何であるかを確認できます。
Ver4から、ファイル形式が変更になりました。その為、以前のVer3で作成したファイルはそのままでは開くことが出来ません。変換してから開く必要があります。
【台本作成ツール】では、Ver3で作成されたファイルを開こうとすると、変換するように促すダイアログが表示されます。その後、変換するファイルを指定するよう促され、選択したファイルを変換後開きます。
なお、変換されたファイルはファイル名が変わります。
元のファイル名：【企画書2012.USR】　変換後のファイル名：【企画書2012 1.USR】
元のファイル名に【1】が追加されます。これにより、変換されたファイルと変換前のファイルが区別出来ます。必要でしたら、過去のファイルを全て変換し、ファイル名から【1】を削除されても結構です。

エクセルの読込み

MS　Excelのデータをインポートする機能を追加しました。（.xls・.xlsx）

以前はMS　Word書類をインポートしていましたが、更に便利になりました。
データの配列については、付属のExcel書類を参考にして下さい。
「エクセルインポートデータ.xls」を開き、はじめの一行目を参考にしてください。
（なお、Ver3.5.1からは、MS　Wordからのインポートは使用できなくなりました。）

各フィールド（欄）にテキストを入力していきます。
データの入力が完了したら、保存します。
以下の ディレクトリーに保存するすることをお勧めします。

保存ディレクトリー

【書類】▷【台本作成ツール】▷【_InBox】
この中に保存しましょう。

エクセルファイルからデータを読込む方法

【メニュー】をクリックします。
【エクセルの読込み】をクリックします。
読込み用の画面が表示されます。
エクセルファイルを選択します。
【OK】をクリックして読込みます
文章台本で表示されます。インポートがうまくいっているかを確認して下さい。

なお、読込みが確実に行なえるよう、エクセルのテンプレートが添付されています。（インストールCD内）

こちらを元に作成してください。このエクセルファイルの一行目にあるラベルは読込まれません。
データは、２行目から読込まれます。

❖設定について

‣使用者

ここには、このソフトをご使用いただく方の氏名、または、会社名を記入します。
各台本に、使用者の氏名が印刷されます。

‣バージョンの確認

この画面では、現バージョンが表示されます。
アップデートしたときなど、この画面のバージョン情報で確認してください。

❖画像について

ご利用頂けるファイル形式

使用できる画像の形式は、MacintoshではPICT、JPEG、EPS、クリップボード書類、ドラッグしたクリップなどです。Winでは、JPEG、クリップボード書類、ドラッグしたクリップなどです。

カットごとに画像を用意するのが面倒な時には、適当なディレクトリーにフォルダーを作成し、その中に画像を保存しておくことをお勧めします。そのまとめた画像ファイルを呼び出して、この台本作成ツールに取込みます。【+】ボタンをクリックすると、画像の保存されているディレクトリーを問いかけられます。先に作成したディレクトリーを指定して、必要な画像を指定すると、画像欄に取込まれます。

動画ファイルの利用

Digital Videoなどをキャプチャーし、QT（QTDVも可）など、ファイルを再生するためのソフトを起動します。必要な箇所で、一次停止します。編集からコピーを選択し、この台本作成ツールの、画像をクリックしてから、ペーストします。この方法を用いると仮編集の行われたDVを元に台本に画像をペーストできます。

その他ご利用いただけるファイルについて

音声も張り付けられます。ICレコーダーの用にその場でアイデアを録音しておくこともできます。
ノートパソコンなどをご利用の場合、アイデアをその場で録音することもできます。
また、打ち合わせの際に、会議の内容を録音しておくことも良いでしょう。
【映像】フィールド（欄）をダブルクリックすると音声録音用のダイアログが表示されます。
そこでパソコンのマイクを使って録音することもできます。

コンテ用の画像を作成するポイント

映像フィールド（欄）は160×90で構成されています。（16:9）
このフィールド（欄）は比率を守ったまま画像を縮小表示します。
従って、比率さえ守っていればきれいな画像を表示できます。
アドビのフォトショップなどで、16:9になる画像を作成し、JPEGファイルで保存すれば、よりきれいな画像を得られます。
文字などもレイヤーで組み、JEPGで書出し後、貼付けてください。

CRESCENDO

❖サポートについて

サポートの形態

このアプリケーションのサポートは、インターネットのメールにて行います。メール以外でのサポートはありませんのでご了承ください。

サポートメールのアドレス

c_music@nifty.com

サポートメールに記載していただきたい事柄

サポートメールには、以下の事柄をお書きください。

- 購入団体名称:
- 購入者氏名:
- メールアドレス:
- 電話番号:
- 製品パスワード:
- お使いのPCのOS:
- 搭載メモリー容量:
- 搭載ハードディスク容量:
- トラブルの内容(できるだけ詳細にお願いします。):

特に、トラブルの内容には、

- 直前に行った行為
- 画面に現れている文字や状態
- プリンタなどの電源の入状況

などをお書きいただけると幸いです。

株式会社クレッシェンド
東京都中央区築地2-15-15-1408
Mail:c_music@nifty.com
URL:http://crescendo.dee.cc

CRESCENDO

株式会社クレッシェンド